





(前頁からつづく)  
に絶対的過剰人口が、層的に姿を現した。絶対的過剰人口の層的出現

は、ブルジョア階級が、賃金奴隸としての生活を保障できなくなってきたこと、即ち、資本主義の下では社会が最早存立できなくなってきたことの証の他ならない。

## 第三期のたたかいで問われるること

野宿労働者の反失業闘争の第三期に際して問われることは、

野宿労働者の層的実存の根拠を

根本から覆す構えを内包した運動として展開すること、長期の

相応しい政治能力を獲得するこ

とである。

第一は、野宿労働者の層的実

存の根拠を根本から覆す構えを

内包した運動を構築することで

ある。

前章で見たように、野宿労働

から自由な自己発展の実現へ移

行する時代に、資本主義が合わ

なくなつたということにある。

われわれは、資本主義の廃絶を

運動の戦略目標に据えていかね

ばならない。

その核心は、労働時間の大

な短縮によって、ワーカシエア

リングと十分な余暇時間の保

を実現し、同時に、精神労働と

肉体労働・農業・工業・物的生産

労働と労働力再生・労働就労

と失業など人々が分割され支

配・隸属の重層的連鎖を経て

きた就労構造を解体して、各人

が自由に発展できるシステムを

は、ブルジョア階級が、賃金奴隸としての生活を保

障できなくなってきたこと、即ち、資本主義の下では社会が最早存立できなくなってきたことの証の他ならない。

今日の野宿労働者の全てでな

いまでもその主要部分は、この

絶対的過剰人口なのである。

（前頁からつづく）

は、ブルジョア階級が、賃金奴隸としての生活を保

障できなくなってきたこと、即ち、資本主義の下では社会が最早存立できなくなってきたことの証の他ならない。

今日の野宿労働者の全てでな

いまでもその主要部分は、この

絶対的過剰人口なのである。

